

13日 連続木曜行動に2000人 「8・30大行動」成功を呼びかけ 総がかり行動実行委員会

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が呼びかける「連続木曜日国会前集会」はお盆に入った13日、13回目を迎え、暑さにもめげず2000人が参加し、戦争法案廃案、安倍政権退陣のコールを永田町一帯に響き渡らせました。

8月一つひとつの取り組みと8・30大行動の成功を！

「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人全国100万人大行動」の成功と、それにむけ、毎週火曜の全国一斉街頭宣伝（18日、25日）、連続木曜行動（20日、27日）などを大きく盛り上げようと呼びかけ、確認しあいました。

集会では、戦争をさせない1000人委員会の藤本泰成さん、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さん、戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センターの高橋和枝さんが主催者あいさつしました。

政党からは、田村智子日本共産党参院議員、小川敏夫民主党参院議員が国会報告・連帯のあいさつを行ないました。

栗田禎子千葉大学教授、黒木英充東京外国語大学教授、川上日弁連憲法問題対策本部事務局長、清水雅彦日体大教授が連帯あいさつ。

このなかで、8月10日、安全保障関連法案に反対する声明を発表した中東研究者・学者・外交関係者を代表して、栗田教授とともに発言した黒木教授は、「エジプトの市民が、“もうたくさんだ！”という声と運動を突きつけ、独裁政治を崩壊させた例にならって、国民の声に耳をかそうともしない安倍政権に“もうたくさん！”と言おう」と発言、注目をあびました。また川上弁護士は日弁連が主催する8・26日比谷野外音楽堂での集会（午後6時から）、国会請願デモ（日比谷公園西幸門午後6時30分開始）への参加を呼びかけました。

戦争法案廃案めざして 「九条の会」が交流・討論集会

「九条の会」は8月12日午後6時から、事務局主催で「戦争法案は廃案に！9条守れ 九条の会交流・討論集会」を東京都内で開きました。

戦争法案の成立強行をめざす安倍首相の暴走を止めるには何が必要か一草の根の九条の会の役割、たたかいの到達点と教訓、前進の方向性を交流しました。

廃案のためには安倍を倒す創意工夫こらした草の根の活動を

渡辺治氏

開会のあいさつで九条の会事務局の渡辺治氏は、「戦争法案を廃案にするには安倍政権を倒す以外にない。そのためにはどうすればいいのか」と提起。この間安倍政権を追い詰めてきた運動の具体例を次のようにあげました。

第一は、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会運動という新しい共同、二つは、地域での創造的なとりくみ（政党間の共同をつくるための九条の会のイニシアティブ、秋田県での県議会九条の会の結成など新たな九条の会の結成、400を超える議会決議、青年や女性の中での運動の広がり）、三つめは保守層の立ち上がり（114 議会で自公が賛成しているなど）。そして2つの画期として、6月4日の衆議院憲法審査会での3人の憲法学者の発言と6月25日の自民党勉強会での暴言があり、7月15日の強行採決で新たな怒りが広がったと述べました。



その上で、①不安を持つが声を上げるに至っていない人々へ運動の幅を広げよう。地域でも分野でもやろう。②地域で「総がかりのような」形態でも、政党間共同でも、創意工夫をして共同の取り組みをしよう。③8月30日は地域でも行動を計画しながらも、国会前行動に参加しよう。④沖縄のたたかいと一緒に取り組もうと、地域で一回りも、二回りも大きな運動をと呼びかけました。

自治体首長や保守層とも共同した各地の経験を交流

草の根の九条の会が報告

全国各地の九条の会から報告され、交流が深められました。

「みやぎ憲法九条の会」の代表は、「大崎市の『九条の会連絡会』の活動が基盤となり、自民党市議をとの共同で『安保関連法案ストップの議員の会』が結成され、運動の急速な広がりで世論の変化を起こしている。こうした運動では『憲法を守る首長の会』が大きな役割を發揮している」と報告しました。

原発事故の被害に今も苦しむ福島県南相馬市の「はらまち九条の会」の代表は、「『大震災でお世話になった自衛隊員の命を守れ』と市議会に働きかけ、安保法案廃案の意見書が可決され、市への働きかけで『憲法全条文集』を全戸に配布することも決まった」と発言しました。



「さいたま市緑区九条の会連絡会」の代表は、「戦争法案廃案のとりくみの中で5つの中学校区すべてで地域九条の会が結成され、8月30日は、中央と呼応して1000人規模のパレードを計画し、これには自民党元市議も賛同している」と報告しました。「ねりま九条の会」の代表は、「練馬区内で、さらに地域を限定したデモなどの行動が、参加の裾野を広げ、一人ひとりの力を引きだしている」と発言しました。いくつかの地域で創価学会の人たちにも働きかけ、戦争法案廃案で共感を広げているとの報告もありました。

「映画人九条の会」は、「戦争法案に反対する映画人アピール」への賛同を集める取り組みを

報告、「子どもの本九条の会」からも『『子どもの未来をつぶされないように』とまとまって大きな声にしてゆく』との発言がありました。

戦争法案廃案の流れ大きく、8・30 大行動の成功を 討論で九条の会が発言

その後、さらに活発な討論が行われました。

「8月30日には地域でも集会などをひらき、その後こぞって国会前に行く計画を進めている」と、首都圏の複数の九条の会代表が発言しました。

「一関九条の会」は、「岩手県知事選挙で、告示直前の8月7日、官邸主導で、自民も推薦するはずだった候補者おろしが起きたが、背景には県議会や一関市議会で『安保法制廃案を求める意見書』がダブルスコアで可決されるなど安保法制問題があった。戦争法案は必ず廃案に」と発言しました。

九条の会の役割に確信 「保守的な人々」とも手携え 小森陽一事務局長

小森陽一事務局長はまとめて、「九条の会を先頭にした草の根の運動の強まりの中で、第一次安倍内閣を倒した経験を持っていることに確信を持つ」と強調しました。

そして、「今回、私たちが全国一斉に行動をおこしたことで内閣支持率を37%まで落とすことができた。あと10%落とすかどうか。保守的な人々にも反対世論を広げ、地域で共同の集会などを開こう。これを踏まえて国会に集まろう。国会10万人、全国100万人の行動を成功させよう。沖縄の踏ん張りに連帯し、『オール沖縄』を全国に広げよう」と呼びかけました。

「8・30大行動」に呼応する行動計画・8月の行動予定を交流しましょう

8月は戦争法案廃案にむけて決定的な時期となっています。戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人全国100万人大行動」を取り組むこと、それにむけた一つひとつの運動を草の根から取り組むことを呼びかけています。

すでに大阪では8月30日、幅広い画期的な共同を成立させ、扇町公園で大集会を開催するとともに、「吹田500人集会」「枚方400人集会」などが次つぎ計画され、全体で3万人の大行動にしようと運動が展開されています。

また石川ではすでに計画されていた「安倍政治を許さず、安保法案の廃案を求める石川県民集会」が、全国に連帯して30日、取り組まれます。呼びかけは戦争法反対、憲法改悪阻止を呼びかける8団体です。

計画をお知らせください

全国各地、草の根の計画をお知らせください。県段階、市町村段階、地域・職場・分野、有志による行動、家族・家庭の計画、一人の取り組みなど掌握しうる全ての計画をお知らせください。全国と共有して8月30日の大行動と8月の取り組みを大きく成功させ、戦争法案廃案、安倍政権退陣を必ずかちとりましょう。

報告は、名称、規模、会場、日程（30日以外の場合は日にち）、主な内容などをメモで。メールの返信、上記奥付の電話、ファックスなどで、あればチラシなども一緒にお知らせください。